

令和4年8月5日

## 環境省「トキと共生する里地づくり取組地域」の選定について

環境省公募事業「トキと共生する里地づくり取組地域」に、本市が「トキとの共生を目指す里地（B地域）」に選定されました。

([https://www.env.go.jp/press/press\\_00336.html](https://www.env.go.jp/press/press_00336.html))

### 1 公募内容（概略）

環境省が、「トキ野生復帰ロードマップ2025」において、本州等におけるトキの定着を目指し、その取組主体となる地方公共団体を「トキと共生する里地づくり取組地域」として公募。「将来的なトキの野生復帰を目指し環境整備を進める地域（A地域）」及び「放鳥は行わないものの、飛来したトキが生息できる環境整備を進める地域（B地域）」として選定するもの。

(<https://www.env.go.jp/press/110969.html>)

### 2 選定地域

#### 【トキの野生復帰を目指す里地（A地域）】

- ・石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町（1県9市町の連名）
- ・島根県出雲市

#### 【トキとの共生を目指す里地（B地域）】

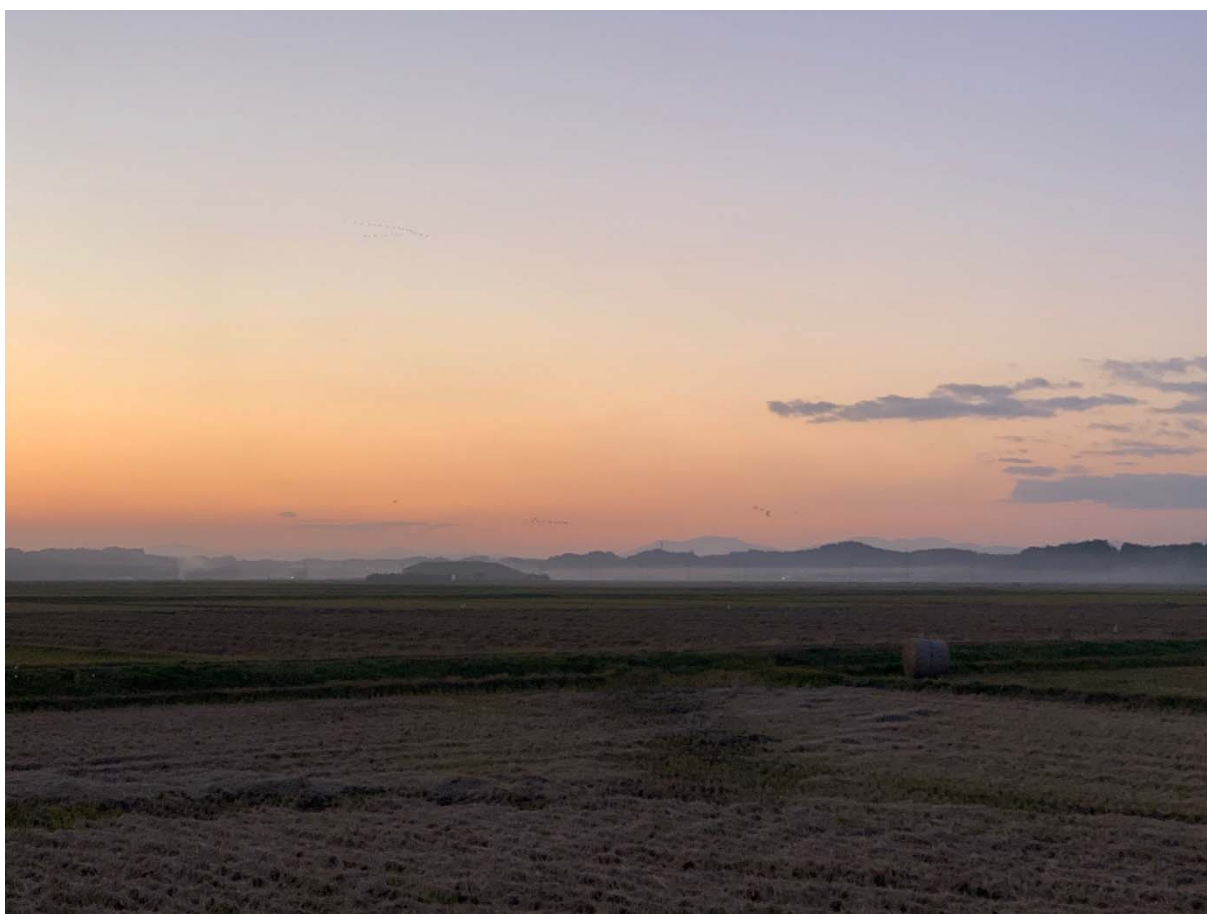
- ・宮城県登米市
- ・秋田県にかほ市
- ・コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム（茨城県古河市、結城市、常総市、坂東市、境町、栃木県栃木市、小山市、野木町、埼玉県行田市、加須市、鴻巣市、久喜市、北本市、吉見町、千葉県野田市、我孫子市、いすみ市、東庄町 18市町の連名）

### ○市長コメント

本市は、トキの生育に必要な十分な農地や森林を有しています。本市は常に自然環境と共存した形で基幹産業である農林業が発展してきました。資源循環型農業や環境保全米、FSC森林認証森林など、これらの持続可能な農林業の取組自体が、トキの絶対数が増えた場合、トキが飛来することを期待でき、トキとの共生を目指すことを可能にするものと自負しております。

また、本市の豊里町には、土木学会選奨土木遺産でもある「鴛波洗堰（ときなみあらいぜき）」や「鴛波（ときなみ）トンネル」など、トキとゆかりのある地名が残っており、かつてこの地でもトキが飛んでいた時代に思いを馳せ、今回この公募に立候補した次第です。

市民の皆様、農林業関係者の皆様と一体となり、地域ぐるみで、とき色の登米市の原風景の中をトキが飛ぶことを願い、飛来した際は、静かに喜び、見守り、共に生きていく取組を進めてまいります。



**【問い合わせ】**

まちづくり推進部観光シティプロモーション課 課長 伊藤 宏一  
TEL : 0220-23-7331